3　各専門部会における教育目標設定の実際

(1)　学校教育専門部会

①　研究の基本的な考え方とその手順

ア　基本的な考え方

本部会では，教育は学校教育で完結されるものでないとする生涯教育の立場に立って，担当すべき発達段階として乳幼児期，児童期，青年期を考え，学校教育の果たすべき役割をふまえて各発達期において身につけておかなければならない人間としての資質を摘出し，それを基盤として教育目標を設定することが大切であると考えた。

そこで，現代の学校教育の問題点を協議するとともに，生涯教育の理念を基調としたハヴィガースト氏（Havighurst，R．J　アメリカ）の人生各期の発達課題（人間の発達段階に応じ，発達させなければならない課題）を参考にして，乳幼児期，児童期，青年期における発達課題の中から本部会で担当すべき発達課題を選び，その下位課題及び具体的内容を検討し，各発達段階における教育目標設定の「柱」とした。

その教育目標設定の「柱」にそって，調査・面接等を行い，足利市民の教育に対する願いや考え方を明らかにし，それらの教育要求を十分生かして足利市における教育課題を摘出して教育目標を設定したいと考えた。

また，教育目標設定に当たっては，学校教育法，教育基本法，社会教育審議会答申，幼稚園教育要領，保育要領，小学校・中学校・高等学校学習指導要領，昭和２９年「足利市教育の一般目標」，現代の教育思潮等の視点からも検討することとした。

イ　手　順

(ア)　発達課題の内容検討と具体目標の設定

各小・中学校で取り上げている学校教育目標を整理するとともに現代の学校教育の問題点を，学校教育の役割，学校教育全体の問題，指導上の問題，受験問題，子供に見られる問題等の観点から協議した。特に，子供に見られる問題の中には，身のまわりの整理整とんができない，自己主張が強い，身体を動かして働くことが不得意である，根気がない，・・・などの多くの問題点があった。これらの問題の原因を究明する観点として，どの時期に，どんな資質を身につけなかったので，このような問題が出ているのかを明らかにする必要があると考えた。そこで，ハヴィガースト氏の乳幼児期，児童期，青年期における発達課題について共通理解を図り，現代の学校教育の問題点をふまえて本部会で重視しなければならない発達課題を選定した。

そして，それらの発達課題を達成するために，幼稚園教育要領，保育要領，小学

校・中学校・高等学校学習指導要領との関連を考えて，各期における発達課題の内容を分析・検討し，各発達課題に対する具体目標を設定した。

(イ)　1次調査の実施

この具体目標を基にして調査項目を作成し，足利市民の乳幼児期，児童期，青年期の教育に対する願いや考え方を浮きぼりにしたいと考え，1次調査を実施した。

そして，各項目について重要度を調べるとともに，その結果を年齢別，性別，地域別に考察をし，足利市民が最も重視している内容，関心の低い内容を明らかにした。

(ウ)　2次調査の実施

1次調査で，足利市民の各期における育てるべき人間の資質が明らかにされたので，その結果に基づき部会で各項目について実態はどうかを協議した。項目の中には実態をは握することが困難な内容があり，これを明らかにする必要があると考え，2次調査を実施した。また，調査内容に落ちがないようにするために，1次調査内容と昭和29年足利市教育の一般目標及び市民憲章との対比を行い，2次調査内容を選定した。

この調査の考察に当たっては，各調査項目ごとに1次調査との関連，性別，年代別，教育関係者集団別の特徴をふまえて充足度状況を明らかにした。

なお，2次調査の結果「どちらともいえない。」の回答が多く，市民の実態が判断しかねる内容については，公聴会に提案し，実態をより明らかにした。

(エ)　足利市の教育課題摘出

1次調査及び2次調査等の結果から，乳幼児期，児童期，青年期における育てるべき人間としての資質についての足利市民の意識や実態を浮きぼりにすることができた。そこで，本部会では，これらの足利市民の願いや考え方を基盤として，乳幼児期，児童期，青年期における足利の風土に根ざした教育の課題（地域教育課題）を検討した。そしてより一般性，普遍性のあるものにするために，教育基本法及び社会教育審議会答申の網目を通して「足利市の教育課題」を摘出した。

(オ)　達成目標及び教育目標の設定

そして，「足利市の教育課題」に含まれている内容を検討し，教育課題を達成するための具体的な目標として達成目標を設定した。この達成目標は，1次調査及び2次調査で明らかにされた足利市民の願いや考え方を十分生かし，教育の適時性をふまえて各期における教育課題ごとに設定するよう配慮した。

達成目標が明らかになった時点で，各期における教育課題相互の関連を考え，一

つの教育課題で一つの教育目標となるもの，あるいはいくつかの教育課題で一つの教育目標にした方がより内容的に明確になるものを吟味し，本部会としての教育目標を設定した。その後，この教育目標は他の専門部会の教育目標と整理統合をして中間発表会に「足利市の教育目標」試案として発表し，広く市民に意見を聞くこととなった。

(カ)　具体策及び教育機能連関の策定

本部会が担当すべき「足利市の教育目標」について，教育目標を生きてはたらく目標にするために，具体的にはどんなことをやればよいのか(具体策)，また教育の場はどこが中核になるのか(教育機能連関)を明らかにする必要がある。そこで，具体策の策定については，達成目標を達成するために考えられる施策と現在足利市で行われている施策を洗い出し，それらの中で特に重視すべき内容を検討して行政自らが行うものと市民自らが行うものを含めて整理をした。また，教育機能連関については，教育目標及び達成目標を達成するために，学校教育が中核となって推進をしなければならないもの，あるいは，学校教育が側面から支える必要のあるものを検討し，学校教育が担うべき役割を明らかにした。

ウ　第１次調査のねらいとその内容

(ア)　ねらい

この調査は，足利市民が乳幼児期，児童期，青年期における人間像及び育てるべき人間の資質についてどう考えているかをねらいとしたもので，調査内容は各期の発達課題を分析した具体目標に基づき，教育の適時性と個人的・社会的発達上不可欠な内容を選び，「未来に生きる人間像」に必要な資質を洗い出すことができるようなものとした。また，各期で学んでおくべき資質等についての考えを自由記述できるように工夫した。

調査項目数，１８９（乳幼児期５９，児童期８３，青年期４７）の中で，足利市民が重視している内容３６，関心が低い内容４５が浮きぼりにされた。

(イ)　内容

発　達　期	内　　容
乳幼児期	1　望ましい生活習慣や態度を身につけること。 2　日常生活の中での身近な人のことばや話などに関すること。 3　社会のようすや自然のようすを学ぶこと。 4　数量や図形について学ぶこと。 5　両親や兄弟など，身近な人たちとの心の結びつきを学ぶこと。

発達期	内容
	6　遊びの中から，自然にいろいろなことを学び，身につけていくこと。 7　友達同士で遊ぶこと。 8　身近な社会生活に参加していくこと。 9　良心を発達させ，善悪を区別することを学ぶこと。
児童期	1　身体の動きやいろいろな運動の基礎について学ぶこと。 2　基本的生活習慣について学ぶこと。 3　基礎的な読・書・算について学ぶこと。 4　日常生活における情報の分類・整理に関すること。 5　友達との交際の仕方について学ぶこと。 6　社会での男女の役割について学ぶこと。 7　人間の感情について学ぶこと。 8　独立心を養うこと。 9　社会的態度を発達させること。 10　道徳性や価値判断力を高めること。
青年期	1　友達仲間との交際の中から学ぶこと。 2　男性として，女性としての社会的役割を学ぶこと。 3　身体の構造を理解し，それを有効に使うことを学ぶこと。 4　両親や他の大人から情緒的に独立することを学ぶこと。 5　経済的な独立について学ぶこと。 6　結婚と家庭生活の準備について学ぶこと。 7　市民として必要な知識や態度を発達させることを学ぶこと。 8　社会的に責任のある行動をすることを求め，それを成し遂げることを学ぶこと。 9　行動のめやすになる考え方を学ぶこと。

(ウ)　調査結果の概要

○　足利市民が重視している内容

乳幼児期
- 交通規則などを守ること。
- 日常生活に必要なことばが正しく使えること。
- 約束したことを守ること。
- 自分の物と他人の物を区別して遊べること。
- 友達に親切にすること。
- 素直にあやまること。
- 自分でできることは自分ですること。
- 善悪の区別ができること。

・　うそをついたり，ごまかしたりしないこと。　　等

児童期
・　やり始めたことは最後まできちんとやること。
・　交通安全を考え，身を守ること。
・　自分で受け持つ仕事の責任を果たすこと。
・　規則を守って行動すること。
・　相手の話をよく聞くこと。
・　責任感のある行動をとること。
・　後始末をきちんとすること。
・　相手の心を思いやって協力すること。
・　体力をつけること。　　等

青年期
・　自分の責任で仕事をすること。
・　自分の健康は自分自身で管理すること。
・　勉強や仕事を自分ですること。
・　職業に関する知識・技能・態度を身につけること。
・　道徳的に優れた行いをするよう意識を高めること。　等

○　足利市民の関心が低い内容

乳幼児期
・　遊びや仕事に合った身じたくをすること。
・　身近かなものに，興味や関心をもつこと。
・　自然の事象に驚きや親しみを感じること。
・　友達と歌を歌ったり，演奏したりすること。
・　男児は男児らしく，女児は女児らしくふるまうこと。　等

児童期
・　ゲームなどの遊びによって体力をつけること。
・　そろばんや計算器を使って計算すること。
・　男女の特性をあげること。
・　みんなに都合のよいように規則を調整すること。
・　必要なことをいろいろな情報の中から選び出すこと。等

青年期
・　男女の社会的役割の変化について学ぶこと。
・　早いうちから先輩たちの仲間入りをして交際の仕方を学ぶこと。
・　異性に対して適度の関心や愛情をもち，それを上品に表現すること。

・　道徳や宗教の問題に関心をもち，真剣に研究に取り組むこと。
　　等

エ　第２次調査のねらいとその内容

(ア)　ねらい

この調査は，１次調査で市民が重視している内容や関心の低い内容のうち，特に部会で実態をは握することが困難な内容について充足度状況を調査した。

調査項目数は２５（乳幼児期４，児童期１０，青年期１１）であるが，今後の参考資料とするために，「現在の学校教育についての意見」を自由記述できるように配慮した。

なお，この調査で，市民が「実態が高い」と判断した項目は３，「実態が低い」と判断した項目が８あった。自由記述の内容については，「現在の学校教育についての課題」として各教育関係者集団別に整理しまとめた。

その中には，「道徳教育を重視してほしい」，「個性を伸ばす教育をしてほしい」「体力の向上に力を入れてほしい」，「子供の自主性創造性を育てる教育をしてほしい。」，「学校と家庭の役割を明確にし，子供のために一貫した教育ができるようにしたい」，「知・徳・体の調和のとれた人づくりの推進をしてほしい」，「世界に信頼される日本人を育成してほしい」などがあり，これらは集団別にかかわりなく取り上げている課題である。

(イ)　内容

発達期	内容
乳幼児期	1　１次調査の結果，市民の関心が低い「遊びを通して学ぶこと」についての充足度をみる質問 2　１次調査の結果，市民が重視している「幼児像に関すること」，「善悪を区別すること」，「社会生活への参加に関すること」についての充足度をみる質問
児童期	3　１次調査の結果，市民の関心が低い「社会生活における情報処理能力に関すること」，「社会における男女の役割に関すること」，「独立心について学ぶこと」についての充足度をみる質問 4　１次調査の結果，市民が重視している「運動の基礎について学ぶこと」，「基本的な生活習慣に関すること」，「基礎

発　達　期	内　　容
	的な読・書・算について学ぶこと」,「友達との交際の仕方について学ぶこと」,「社会的態度について学ぶこと」,「道徳性に関すること」についての充足度をみる質問
青年期	5　1次調査の結果，市民の関心が低い「男女の社会的役割について学ぶこと」,「結婚や家庭生活の準備について学ぶこと」,「市民として必要な知識や態度について学ぶこと」,「行動のめやすとなる考え方を学ぶこと」,「社会的に責任ある行動について学ぶこと」,「身体の構造についての理解に関すること」,「大人からの情緒的独立に関すること」についての充足感をみる質問 6　1次調査の結果，市民が重視している「友達仲間との交際について学ぶこと」,「職業に対する知識・技能・態度について学ぶこと」についての充足度をみる質問 7　1次調査の結果，市民の関心が低い「交際のしかたを学ぶこと」について，再度重要度をみる質問

(ウ)　調査結果の概要

○　実態が高いと判断された項目

乳幼児期　・　みんなと一緒に歌を歌ったり，絵を書いたり，物を作ったりして楽しく遊べること。

児童期　・　グループ・学級・学校などの規則を尊重し守ること。

青年期　・　男女の社会的役割が変わることを学ぶこと。

○　実態が低いと判断された項目

児童期　・　やり始めたことは，最後までやること。

・　身のまわりのことを自分で整えたり，学習課題を独力で解決したりすること。

・　いろいろな情報を分類したり，整理したり，活用したりすること。

青年期　・　道徳や宗教の問題に興味をもち，真剣に研究に取り組むこと。

・　日本を中心とする国際関係，国際問題，世界各国の地理・歴史を学ぶこと。

- 地域社会の行事に積極的に参加すること。
- 結婚と家庭生活の準備について学ぶこと。　等

オ　教育課題摘出の観点並びにその方法

足利の風土に根ざした地域性のある教育課題を摘出するために，1次調査及び2次調査等の結果における足利市民の教育に対する重要度とその充足度状況を基にして，1次調査の各調査項目をA（市民の意識が高く，実態も充足されている），B（市民の意識は高いが，実態は充足されていない），C（市民の意識は低いが，実態は充足されている），D（市民の意識は低く，実態も充足されていない）の四つのタイプに分類した。そこで，本部会では原則としてB，A，C，Dの順に各項目をランクづけし，地域教育課題を摘出する根拠を明らかにした。ただし，現代の教育において特に重要と思われる項目については，Dタイプであっても取り上げたいと考えた。

このようにして摘出した地域教育課題を一般教育課題と対比させ，より一般性，普遍性を兼ね備えた「足利市の教育課題」を摘出した。

各期における「足利市の教育課題」は次の通りである。

発達期	タイプ	教育課題
乳幼児期	B	○　健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける必要がある。
	B	○　運動に興味をもち，進んで行う習慣や態度を身につける必要がある。
	B	○　安全な生活に必要な習慣や態度を身につける必要がある。
	C	○　親しみをもって，正しく見たり，聞いたり，話したりすることが必要である。
	B	○　自分ですべきことは進んで行う習慣や態度を身につける必要がある。
	B	○　動植物に愛情をもち，自然に親しむ豊かな心を身につける必要がある。
	D	○　ものの形や種類・数に関心をもち，学ぶ態度を身につける必要がある。
	C	○　生物や自然事象に興味・関心をもち，学ぶ態度を身につける必要がある。
	A	○　友達といろいろな方法で積極的に遊べる態度を身につける必要がある。
	A	○　日常生活の中で，社会的に望ましい習慣や態度を養うことが必要である。
	A	○　男女それぞれのよいところを出し合って，仲よく遊んだ

発達期	タイプ	教育課題
		り，作業したりすることが必要である。
乳幼児期	A	○　日常生活の中で，正しい道徳的価値判断を養う必要がある。
児童期	B	○　体を使ったいろいろな運動を楽しむとともに，体力を身につけることが必要である。
	B	○　健康・安全・整理整とんなどの基本的な生活習慣を身につけることが必要である。
	B	○　よく聞くこと・わかるように話すこと・わかるように読むこと・正しく書くことの基礎能力を身につけることが必要である。
	D	○　基礎的な計算力を身につけるとともに，ものごとの筋道を立てて考える能力を身につけることが必要である。
	B	○　自然を調べる力や社会生活について考える力を身につけることが必要である。
	D	○　造形・音楽・家庭生活について美的情操を深め，創造的な態度を身につけることが必要である。
	D	○　生活する上で必要な情報を収集，分類，整理，活用することを身につけることが必要である。
	B	○　男女が協力していく時，相手の心を思いやることや，集団の中で友達とつき合っていく時，規則を守って行動したり，みんなで決めたことに協力することを身につけることが必要である。
	D	○　男女の特性を理解し，それぞれに適した役割を受け持って互いに協力し合っていく生活態度を身につけることが必要である。
	B	○　障害や失敗にくじけることなく，ねばり強くやりとげる意欲や態度の育成が必要である。
	B	○　感情や欲望に走ることなく，自己をみつめ，自己を統制して，望ましい生活態度を身につけることが必要である。
	B	○　自主的に望ましい行動をとる態度や，実力を養って自力で解決する強い心を身につけることが必要である。
	D	○　公の機関に対する認識を深めるとともに社会人としての自覚を高めることが大切である。
	B	○　集団に対する奉仕，責任，協力などの社会的態度を身につけることが必要である。

発達期	タイプ	教育課題
児童期	B	○　正直，忠実，責任，規則の尊重，思いやり，奉仕，義務の遂行等道徳的価値の判断力を養い，道徳的実践力を身につけることが必要である。
青年期	C	○　正しい異性の見方を学び，個人的感情をおさえ，互いに信頼し合う態度を身につける必要がある。
	D	○　性差を理解し，男女の社会的役割を考え，それぞれにふさわしい考え方を十分身につける必要がある。
	A	○　自分に適したスポーツや読書などの趣味を選び，生活を楽しむとともに，自分の健康管理は自分自身ですることを学ぶ必要がある。
	B	○　日常生活の中で起る諸問題について，主体的に取り組み，両親等に頼ることなく合理的に改善しようとする自主的な態度の育成が必要である。
	B	○　能力・適性に応じた職業を選択し，その職業に就くための準備をすることが必要である。
	D	○　将来の家庭づくりに対する関心を高めるとともに，結婚，家庭生活についての準備に目を向ける態度の育成が必要である。
	D	○　国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるため，日本のことはもとより，世界各国の地理，歴史，国際関係や国際問題に関心をもち，広い視野に立つことが必要である。
	B	○　個人的な行為の中で権利や自由を主張するだけでなく，個と集団の関係の中で社会的な義務や責任を重んずる態度を身につけることが必要である。
	B	○　道徳的に優れた行いをするよう，自からの意識，判断力，自制心等を高めるとともに，人間の生き方，行動のしかたを身につけるための道徳観や宗教心を学ぶことが必要である。

このように，本部会では，「足利市の教育課題」として乳幼児期１２，児童期１５，青年期９を摘出した。また，それぞれの教育課題もA，B，C，Dの四つのタイプに分類し，教育目標を設定するための参考としたいと考え，Aタイプ５，Bタイプ１９，Cタイプ３，Dタイプ９を明らかにした。

カ　達成目標及び部会が考えた教育目標作成の観点並びにその方法

達成目標を設定するに当たっては，「足利市の教育課題」の内容を明確にすることが大切であると考え，各教育課題に含まれている内容を具体的に検討した。

その内容をふまえて，A，B，C，Dのタイプにランクづけされた1次調査の項目を参考に「足利市の教育課題」を達成するための具体的な目標として，達成目標を設定した。

本部会で作成した達成目標数は，次の通りである。

発達期＼タイプ	A	B	C	D
乳幼児期	15	11	15	7
児童期	10	32	5	33
青年期	2	12	3	25

このような方法で達成目標を設定すると網ら的になるため，本部会の達成目標全体を見通して「特に重要」，「かなり重要」，「重要」の3段階にランクづけをし，教育目標設定の資料とした。

そして，「足利市の教育課題」とそれをふまえた達成目標について，他部会との関連を図り相互補完をするために四専門部会合同会議が開催された結果，部会で検討した達成目標の一部修正をした。

その後，「足利市の教育課題」を基に課題に含まれる内容，あるいは達成目標を検討し，教育課題間の関連をふまえ本部会として乳幼児期8，児童期14，青年期9の教育目標を設定した。

キ　具体策，教育機能連関策定の観点並びにその方法

各専門部会で検討された教育目標，達成目標を整理・統合し，人生各期における「足利市の教育目標，達成目標」が設定された段階で，本部会で具体策を策定する教育目標が明らかにされた。乳幼児期7，児童期12，青年期10の教育目標である。

そこで，具体策策定については，教育目標，達成目標を達成するために考えられる施策と，現在足利市で行われている施策を達成目標との関連において洗い出し，それらの中で，特に重視しなければならない内容を検討した。そして，それらを行政自ら行うものと，市民自らが行うものとの2つの観点から整理した。

教育機能連関については，本部会では，乳幼児期3，児童期14，青年期13の教育目標について，中核となる教育の場とその役割を明らかにするとともに，それを支える場との機能的なかかわりを検討した。特に，学校教育が中核となり達成しなければならない教育目標については，他の家庭や地域がどのようなかかわりをもたなければならないかを明らかにした。あるいは，家庭や地域等が中核となって達成しなければならない教育目標については，学校教育が側面からどのように支える必要があるかを検討した。

② 研 究 経 過

昭和５１年度

回	日　時	内　容
1	１１月１８日 14:00～16:30 （201会議室）	1　専門部会における研究構想について (1)　研究構想を立てるための自由討議 ・「人生各期の発達課題」についての共通理解 ・上記の発達課題から，学校教育専門部会としての担当すべき発達課題の検討 ・学校教育専門部会の担当する発達課題について，下位課題及び具体的内容の検討。さらに，それを幼・小・中・高・大学の学校段階に分析，配列して，各発達段階における目標設定の「柱」の検討 ・各種法令（学習指導要領を含めて）及び現代の教育思潮等の視点からの検討 (2)　特に留意すべき点 ・現在の学校教育における問題点。 ・作成の過程で市民の意見をできるだけ聞くこと。 ・教育目標の具体的方策を十分考えること。 ・教育目標と学校教育目標との関連を図ること。 ・教育目標と学習指導要領との関連を図ること。 ・幼児教育と小学校低学年との系統性をふまえること。
2	１２月１７日 14:00～16:30 （603会議室）	1　現代の教育の問題に関する討議について (1)　学校教育の役割 (2)　学校教育における具体的な指導上の問題点 (3)　学校教育全体の問題点 (4)　学習塾 (5)　受験問題 (6)　子供に見られる問題
3	１月１７日 14:00～16:00 （201会議室）	1　現代教育の問題の中で「子供に見られる問題点」について ○「子供に見られる問題点」について意見の交換をし，原因等を究明する。 ・身のまわりの整理整とんができる。 ・自己主張は上手だが，身体を動かして働くことが不得意である。 ・母親の過保護が自立心を破壊していないか。 ・やる気をなくした高校生の増加と，小・中学生への広がりがみられる。

回	日　時	内　容
		・根気強さの不足，激しい部活動に耐えられず退部者がいる。
4	2月22日 14:00～16:30 (334会議室)	1　「子供に見られる問題点」と人生各期の発達課題との関連について (1)　「乳幼児期」における内容検討 ○　乳幼児期の発達課題の内容の分析をし，学校教育専門部会での分野の洗い出しを行い，調査項目設定の重要な資料とする。 ・直立歩行の学習　・基本的な生活習慣の学習 ・簡単な言語の学習　※・社会や自然についての学習 ※・簡単な数量の学習　・親，兄弟，その他の人と情緒的に結びつくことの学習 ※・簡単な遊びの学習　・男女の区別を知り，性に対するつつしみの学習 ・同輩との交際の仕方の学習 ・良心を発達させ善悪を区別することの学習 (※のある調査項目を作成するときは，重要項目とする。) 2　52年度の専門部会開催計画について ○　計画案を作成し，次回の会議で検討する。
5	3月11日 14:00～16:45 (201会議室)	1　「児童期」における内容の検討について (1)　下記資料についての共通理解 ・「人間生成の基本的課題」(教育人間学) ・「発達課題の教育的適用」(教育心理) ・「青年期の発達上の課題」(青年心理学) (2)　各項目についての内容の検討 ・普通の運動に必要な身体的技能の学習 ・基本的な生活習慣の学習 ・読・書・算の基礎的技能の学習 ・社会，自然についての生活に必要な知識・理解の学習 ・同輩仲間と交際することの学習 ・男子または，女子としての適切な社会的役割の学習 ・人間としての普通の感情の深化と統制の学習 ※・人格の独立，自立を発達させることの学習 ※・社会的諸集団や機関に対して，適切な社会的態度を発達させること。 ※・道徳性や価値判断の尺度を社会的基準まで発達させること。 (※印については家庭人としての教育専門部会との関連を図る必要がある。)

昭和５２年度

回	日　時	内　容
1	４月１８日 14:00～16:30 (201会議室)	1　「青年期」における内容の検討について (1)　青年心理学（教師養成研究会編著）の「ハヴィガースト氏の発達課題」を基にして，各項目の内容についての検討 ・自分の身体を受容し，それを効果的に使用することの学習 ・自我の発見，確認，並びに自己指導を増強させることの学習 ・社会人として必要な知識，理解，技能，態度の学習 ・職業の選択と準備のための学習 ・大人，特に親の支配から離れ，自立することの学習 ・同年齢の両性仲間とのより成熟した新しい関係の学習 ・適切な社会的役割の学習 ・結婚と家庭生活への準備の学習 ・余暇の健全な利用法の学習 ・行動の指針としての価値や倫理体系の学習 2　河野重男先生への質問事項について ・昭和２９年の足利市教育の一般目標と今回の教育目標との関連 ・他の専門部会との調整の時期，方法についての検討 （進展状況，方法論的な違いなど）
2	５月２６日 14:00～16:30 (335会議室)	1　発達課題の内容検討について ○　幼児期，児童期，青年期の３グループの発達課題
3	６月２７日 14:00～17:00 (201会議室)	1　乳幼児期，児童期，青年期の発達課題の検討について ○　現代の学校教育の問題点，発達課題の内容，幼・小・中・高等学校の各学習指導要領等との関連 2　備考 (1)　ハヴィガースト氏の発達課題の資料は翻訳書で，アメリカ的傾向が強いため，日本的な面からの見直しをしていく必要がある。 (2)　用語，用紙の形式を統一する必要がある。 (3)　乳幼児期，児童期，青年期の内容について考える必要がある。
4	７月２２日 14:00～16:30 (201会議室)	1　乳幼児期，児童期，青年期における発達課題の見直しと発達にそった系統性について (1)　乳幼児期，児童期，青年期の目標及び達成目標について，同一時期で重複のないよう見直しを行う。 (2)　乳幼児期，児童期，青年期の系統性を考え，一覧表にまとめる。
	８月１日 15:00～17:00 (201会議室)	1　河野重男先生への質問の回答について ○　発達課題を基にして，具体的な調査項目を作成したい。

回	日　時	内　容
臨時	8月1日 15:00～17:00 (201会議室)	• 昭和29年の「足利市教育の一般目標」を検討すべきである。 • 今回の調査は，この分析表を基に考えてよい。 • 調査方法は重要度と充足度の両面がわかるような方法を考えるとよい。 • 自由記述欄を設けるとよい。
5	8月22日 14:00～16:00 (201会議室)	1 「調査項目設定の基本的考え方及び具体的な設定方法」について (1) 調査項目はハヴィガースト氏の発達課題を基にして，足利市民の考えている人間像を浮きぼりにするため，各期(幼・児・青)ごとに10項目を設定する。そのとき，大項目の重要度についても加味するようにする。 (2) 調査項目の作成についての検討 • 選択肢は各質問ごとに，9以下とする。 • 自由記述欄を設ける。 • 性別，年齢別の集計も考える。 • 簡単な予備調査をする。(10月17日以降)
6	9月19日 14:00～16:00 (201会議室)	1 乳幼児期，児童期，青年期ごとの，調査項目の内容（案）検討について (1) 調査項目の作成についての検討 • 実際に回答する立場に立って考えると，できるだけやさしい文章で表現した方がよいのではないか。 • 項目によって類似している内容は統合してもよいのではないか。 • 自由記述欄を設ける必要がある。 • 足利市としてどのような人間像を期待しているのかについての共通理解を図る必要がある。
7	10月17日 14:00～17:00 (333会議室)	1 乳幼児期，児童期，青年期ごとの調査項目の内容(案)検討について (1) 乳幼児期，児童期の修正箇所の発表と検討 (2) 回答の基本的な考え方 今の幼児，小学生，中学生，高校生，大学生の状況から判断して，回答してもらう。 (3) 調査項目の表記のしかた (4) 回答用紙の形式
		1 青年期の 調査項目及び内容についての修正案検討 について 2 調査用紙の形式について

回	日　時	内　容
8	11月14日 14:00～16:30 (柳原小学校)	○　乳幼児期　Ⅰ問1 ～ 問11　○　児童期　Ⅱ問12 ～ 問23 ○　青年期　Ⅲ問24 ～ 問34 学校教育専門部会　調査内容検討
9	12月8日 14:00～17:30 (333会議室)	1　調査内容の検討（最終）について (1)　11月28日に小委員会で内容及び形式について共通理解を図り，それを基に調査用紙を作成し，各期ごとに5～10名を対象に予備調査を実施した。 (2)　各期ごとに予備調査をした結果の検討 ○　児童期 ・　設問が長過ぎるので，簡単にした方がよい。 ○　青年期 ・　内容がむずかしいのではないか。 ・　青年期の幅がありすぎる。 ・　分量が多い。 ○　全般的な問題 ・　調査内容の修正の問題　・分量の問題 ・　コンピューター処理にかかわる問題 ・　回答用紙の問題……調査内容，分量の関連で検討する。 ・　指導者河野重男先生より問題点について指導を受ける。 2　調査に当たっての調査問題形式検討について (1)　各部会共通の調査依頼文の検討　（10,000 人調査の表示） (2)　回答用紙の作成
10	1月17日 14:00～16:30 (201会議室)	1　第1次調査用紙配布に伴う諸準備について ○　調査用紙等の発送作業をする。
11	2月17日 14:00～17:00 (201会議室)	1　調査項目の考察についての基礎資料について (1)　記入事項 の 確認 (2)　アンケート用紙整理の手順 (3)　アンケートの集計と考察について (4)　考察の基本的な考え方

回	日　時	内　容
11	2月17日 14:00～17:00 (201会議室)	• 各問いごとに私見を入れずに考察する。 • 順序付けをし，重要度を考える。 • 総括のトータルで重要度を考え，男女別，年齢別，地域別の集計はその都度考慮する。 • 乳幼児，児童期，青年期の発達段階から見た考察についても考えてみる必要がある。 • 自由欄についても整理する。
12	3月13日 14:00～17:30 (602会議室)	1　アンケート集計結果の考察について ○ 各発達期ごとに考察の作業をする。 • 重要度については設問ごとに実数で計算する。 • 普通という欄に回答した人が50%以上を越える項目についての考え方。 • 年齢別，地域別などについては，実数だけで判断するのは問題がある。 • 発達期ごと，設問ごとに点数化し順位を決める。

昭和53年度

回	日　時	内　容
1	4月28日 14:00～17:00 (201会議室)	1　乳幼児期，児童期，青年期における第1次調査結果の考察について (1) 調査結果の分析 「特に重要」－「あまり重要でない」＝「重要度」と考え，重要度の多い順に並べ，他の考察と比較するためE表を作成した。 (2) 各発達期における考察結果 • 標準偏差を求めて，平均から±α以外の部分を，市民が特に高い関心を示しているものと判断した。 • 市民の意識と実態にずれが見られるものについての扱い方 • 「特に重要」－「あまり重要でない」がマイナスに出た項目についての扱い方 • 同じような内容について矛盾が見られるものについての扱い方
		1　第1次調査結果の考察について (1) 乳幼児期，児童期，青年期の調査結果の考察 • 市民が特に重要だと考えている項目を摘出するためにグラフ化した。

回	日　時	内　容
2	5月15日 14:00～16:30 (201会議室)	特にm＋α以上の設問について考察する。 • 重点的に男女別トータルを考察し,(m－α)についても考えてみる。 • 男女別，年齢別，地域別についても考察する。 (2) 自由記述についての考察（児童期） • 設問に対する意見，理想的な乳幼児，児童，生徒像などについて記述されているものが多くあった。 (3) 全体的な考察 • 市民が関心の薄い項目についての取扱いについて • 地域別，年齢別，男女別の考察はどうか。 • 自由記述のまとめ方をどうするか。 • 考察については，個人の意見，考え，推察などはあまり含めないようにする。
3	6月30日 14:00～16:30 (201会議室)	1　第2次調査項目について (1) 基本的には原案の通り，設問数についても一応34個におさえる。 (2) 昭和29年の「足利市教育の一般目標」の小項目と関連をもたせる。 2　第2次調査項目の検討について (1) 四専門部会の設問例 形式は学校教育専門部会（案）の通りとする。 (2) 調査問題 性別，年齢についての問いも回答用紙の中に入れる。
4	7月25日 14:00～17:40 (201会議室)	1　第2次調査項目の検討について (1) 乳幼児期……実態をつかみたいので項目数を4から6にする。 (2) 児童期…… 文章上の表現を統一する。 (3) 青年期…… 設問5については意識調査をする。 (4) 自由記述については記入欄を設けて意見を聞く。
5	8月21日 14:00～16:00 (201会議室)	1　第2次調査の集計と考察について (1) コンピューター処理結果による集計内容 (2) 自由記述の集計方法 (3) 設問の考察方法 (4) 地域教育課題を導くための資料作成等の解説

回	日　時	内　容
5	8月21日 14:00～16:00 (201会議室)	2　面接調査の実施について (1)　対象者の選定，第2次調査の対象者の中から主として選定する。(時期，内容)
6	9月26日 14:00～20:00 (201会議室)	1　第2次調査の考察について (1)　配布資料の点検 (2)　コンピュータ処理用紙の説明 (3)　各発達期ごとに第2次調査の考察をしたものの検討，修正 ・　乳幼児期より検討 面接を必要とするものや，ブロック別に差があるもの，重要度得点や充足度得点の差が多いものなどについて，問題があるものは，「別の考察の項目」を設けて地域教育課題の設定の参考とする。 ・　児童期，青年期についても，乳幼児期に準ずる。
7	10月30日 14:00～18:00 (201会議室)	1　面接調査実施の内容及び要領について 2　地域教育課題の摘出について ○　各発達期ごとに，地域教育課題として第1次，第2次調査のまとめを参考にして，地域教育課題を摘出する。 (1)　地域教育課題についての数は，現時点ではあまりこだわらずに摘出する。 (2)　観点別に分類するとき，第1次調査だけの調査項目については，実態を推測して記号化する。なお，判断がむずかしい項目は面接調査で実態をは握する。 (3)　学校教育部会の面接調査は今後必要と認めたときに考えていく。
8	11月30日 14:00～17:30 (201会議室)	1　地域教育課題の摘出について ○　乳幼児期，児童期の地域教育課題が一般教育課題に全部含まれている。 ○　青年期，一般教育課題にある「在学青年は思考の抽象化や現実社会からの疎外観の克服をする。」が地域教育課題の中に含まれていないので，検討する必要がある。 2　河野重男先生より指導を受ける内容について (1)　一般教育課題と地域教育課題との対比において，地域教育課題として取り上げられなかった項目についての取り扱いをどうするか。 (2)　達成目標作成の内容，方法の検討 (3)　第2次調査の自由記述をどう生かしていくか。など

回	日　時	内　容
9	12月8日 14:00～18:00 (201会議室)	1　「地域教育課題」の取り上げ方について 河野重男先生，新井郁男先生より指導を受ける。 2　教育課題の検討について (1)　地域教育課題と達成目標（案）との関連をどのように図り，それを取り上げる理由の中にどのように文章表現するか。 (2)　第2次調査を行っていない課題については，充足度状況からみると「……のように思われる。」という書き方で記入する。
10	1月16日 14:00～17:00 (201会議室)	1　地域教育課題（中間のまとめ）の内容について (1)　各専門部会で摘出された教育課題のレベル調整。 (2)　学校教育と家庭教育を明確にする必要がある。 2　地域教育課題と達成目標（案）との関連について ○　修正教育課題，達成目標，内容項目などについて原案にそって検討する。
11	2月8日 14:00～17:00 (201会議室)	1　各発達期ごとに，地域教育課題と達成目標との関連について（教育課題の修正，内容項目の検討を含む） (1)　教育課題の修正 (2)　内容項目の検討 (3)　達成目標の吟味 2　各専門部会と関連のある達成目標の摘出と，四専門部会合同会議に提出する資料について (1)　乳幼児期の達成目標は全部提出する。 (2)　児童期は，特にどの達成目標を提出するか検討する必要がある。 (3)　青年期は，特に他の各専門部会との話し合いが必要である。
臨時	2月26日 14:00～17:00 (331会議室) 四専門部会 合同会議	1　他の専門部会との合同会議について 他の専門部会との協議を行い教育目標設定の共通理解を図った。 (1)　学校教育専門部会では，市民部会20，職業人部会21，家庭人部会に70の達成目標を提出する。 (2)　他の専門部会からは，市民部会12，職業人部会4，家庭人部会20が提出された。
12	3月9日 14:00～16:30 (201会議室)	1　他の専門部会との関連内容の検討について 2　達成目標の検討について ○ タイプの未定なものについての検討 ○ 今回は結論でず,次回までに小委員会が考え,それを全員で検討する。

回	日　　時	内　　容
臨時	3月29日 13:00～19:30 (201会議室)	1　達成目標の検討について (1)　乳幼児期，児童期について検討，修正 (2)　青年期について検討，修正

昭和54年度

回	日　　時	内　　容
1	4月27日 14:00～16:30 (201会議室)	1　学校教育専門部会の教育目標設定の基本的な考え方と研究の手順，原稿内容について 2　達成目標にかかわる具体策，教育機能連関の基本的な考え方について 3　具体策，教育機能連関の作成分担について ・　各学校で行われている施策の洗い出し。 ・　達成目標を達成するために考えられる施策。 ・　資料の収集を行う。
臨時	5月25日 16:00～17:00 (201会議室)	1　現在，足利市において行われている施策の検討について 各発達期ごとに作成した「現在足利市において行われている施策」についての検討 (1)　乳幼児期，児童期の施策についての補足，修正する。 (2)　青年期の施策については，次回までに補足，修正する。
2	6月4日 14:00～17:00 (201会議室)	1　各期ごとに達成目標にかかわる具体策，教育機能連関の検討について 2　足利市教育目標中間発表会への協力について
3	8月24日 14:00～17:00 (201会議室)	1　足利市教育目標中間発表について (1)　河野重男先生の講演内容 (2)　中間発表会の意図及び概況 (3)　意見発表者，発言者等 (4)　中間発表会に関する広報状況 2　統合された教育目標，達成目標の見直し検討について ・検討の方法　　・各期ごとの見直し検討
4	9月20日 14:00～17:00 (331会議室)	1　達成目標の検討について (1)　乳幼児期の達成目標について検討，修正する。 (2)　児童期の達成目標について検討，修正する。 2　部会で，重要と考えられる達成目標の抽出について （他の専門部会との関連は，後日，四部会合同で調整する）

回	日　時	内　容
5	10月11日 14:00～17:00 (333会議室)	1　達成目標の検討について(継続) ○　青年期の達成目標について，検討をする。 2　達成目標の他の専門部会との関連の見直しについて ○　内容的に共通性が強いもの，分離をした方がよいものなどについて検討する。 学校教育専門部会　達成目標の検討
6	11月15日 14:00～20:00 (334会議室)	1　達成目標の検討について(継続) ○　未検討の「達成目標」の検討　○　達成目標の検討，修正をする。 2　総合調整委員会の報告について 3　目標起草委員会の報告について (1)　教育目標の解説の検討をする。 (2)　達成目標の角度から検討を要する教育目標について検討する。 (3)　重点教育目標設定の考え方について検討する。
7	12月6日 14:00～18:55 (201会議室)	1　全教育目標についての達成目標の確認と検討について (1)　作成の意図が盛り込まれているかどうかの検討 (2)　教育目標に照らして達成目標が妥当であるか，などについて検討
8	1月31日 15:00～18:00 (201会議室)	1　各達成目標の検討について (1)　学校教育部会にかかわるものについての洗い出し (2)　具体策を策定する達成目標を選び出すこと。 (3)　具体策の策定に当たっての作成の手順 2　具体策の策定について，新井郁男先生より指導を受ける。 ○　具体策についての考え方……行政自らの立場，市民自らの立場の両面から策定する。 ○　具体策の表現について
9	2月19日 14:00～17:00 (市民会館4号室)	1　具体策・教育機能連関策定スケジュールについて 2　具体策策定作業用紙の記入要領について 3　達成目標達成のための具体策策定の考え方と分担について 1　達成目標にかかわる具体策の検討について
10	3月4日 14:00～17:00 (201会議室)	○　小委員会より提出された原案につき遂次検討する。 2　重点教育目標の検討について ○　〔準備した資料「教育目標に対する担当部会一覧」「人間像の内容・教育目標一覧」〕

昭和５５年度

回	日　　時	内　　容
1	４月１８日 14:00～22:30 （201会議室）	1　達成目標にかかわる具体策の検討について ○　各発達期ごとに作成した具体策について検討した。 2　重点教育目標の検討について ○　小委員会の各グループごとに選んだものを検討，修正する。 3　同和問題に関することを教育目標にはっきりと加えることについて 4　具体策，教育機能連関策定について
2	５月１３日 14:00～17:00 （201会議室）	1　他の専門部会で策定した具体策について 2　教育機能連関の作成について (1)　教育の役割を明らかにしていく。 (2)　教育の場を明らかにしていく。
3	６月１９日 14:00～18:30 （201会議室）	1　重点教育目標について ○　各専門部会の角度から強調される目標の内容について検討する。 2　教育機能連関の検討について ○　各委員が作成した教育機能連関について逐次検討 ○　教育機能連関について，検討したものを各委員が持ち帰り，作成して次回に持参する。
4	７月４日 14:00～16:30 （201会議室）	1　教育機能連関の検討について ○　前回，検討した教育機能連関について修正したものを再検討した。（前回に引き続き，小委員会で作成した原案について検討した。）
5	１１月１４日 14:00～16:30	1　意見書（案）の検討について 2　次年度以降の足利市教育目標具現化構想について 3　「各専門部会における目標設定の実際について」の原稿内容検討について 4　本発表会のもち方について 5　１２月２日全体会で協議してほしい議題の提出について